

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

こめび 通所支援事業

	チェック項目	はい	どちらか	いいえ	備考	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定数が指定訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	1	集団指導等でもスペースは確保できている。補習(学習)を行う時には、各々で、できる場所(机)を提供。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3	2	0	0	個別プログラム(1対1)が必要な時に配置ができる。以前は片水木の手手が不足がちであった。室内、園庭かで子供連一人でのいる事のように職員は、いつでも一緒にいる事を心掛けている。	
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	2	0	3	0	事務所が簡易にある為、バリアフリー化が難しいが階段の上り下りの訓練ができる。転落しないよう職員監視し、声かけや予防に努めている。声は必要に応じて。	
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	2	1	1	1	全員の情報は、浸透していない事もある。時差出勤のパート職員に業務伝達ができない状況もあるため日報で役割分担等を記載などで対応している。	
	5 保護者等向け評価表を活用するによりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	1	アンケート等は送達の際に、保護者から出た意見を受け止め、職員で共有し改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	0	2	1	公開予定、作成中	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	1	検討中。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	1	1	パート職員にも外部研修や事業所内研修(勉強会)実施予定。	
業務改善	9 アセスメント適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	1	アセスメントを保護者等から課題抽出し、作成している。モニタリング会議、関係者会議、支援会議等で客観的に分析してサービス計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	1	1	1 使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	2	0	1 会議の時間が取れないときは、個人に委ねていることもあるが毎月プログラムは事前に作成して保護者に譲っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	0	1 人でプログラムを長期的に行うとプログラムの固定化になるので他の職員も一緒に考える。異年齢によって共通理解が難しいときがあるため説明を分けてやすくすることで示している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して実施しているか	3	1	0	1	1 利用が長時間のためメリハリのあるプログラム、課題等を事前に設定している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	1	1 集団と個別のプログラムを設定、活動している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	1	0	1 会議等で今日の支援内容、役割等申し送りする。時差出勤員なので日報にて役割分担等の記載確認している。口頭で支援内容や役割分担を確認している。	
	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、互いに学びを共有しているか	2	1	1	1	1 業務時間内で振り返りができない日も多いので、翌日の午前中に行っている。その日でも対応しなければならぬ場合は、電話、メールで実施している。	
	17 日々の支援に際しては記録をとることを実施し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	1	1 児童発達支援管理責任者の指示のもと検証、改善を行っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	1	1	1 定期的な日程に沿ってモニタリングに参加し改善の必要性を判断している。	
19 ガイドラインの原則の基本活動を複数組み合わせて実施しているか	2	0	1	2	1 複数組み合わせてできている時とそうでない時があり、ガイドライン原則の内容把握を再確認し、それに沿って支援できるようにしていく。		
適切な支援の提供	20 障害児支援事業所のサービス提供が、会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3	0	1	1	1 児童発達支援管理責任者が毎回対応している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	0	0	2	1 学校に返迎しことから、担任教師等との情報共有、交換、連絡調整しており、それでも再確認したい場合は学校事務員と連絡している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	1	3	1	1 現在、対象児はいない。	
	23 放学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有を相互確認しているか	3	0	1	1	1 幼稚園と情報共有や相互理解に努めている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から通所するサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	2	1	2	1 対象児なし。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	2	1	2	1 定期的な専門機関との連携や助言はないが、専門機関主催の研修等は参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	1	1 本事業所に通所している児童は、地域の小学校に属している為、毎日の生活の中で障がいのない子どもとの関わりがある。	
	27 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2	1	1 日程があえば参加するよう努めている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	0	1	1 状況を伝えていない児童と伝えていない児童にわかれている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の実施を行っているか	3	1	0	1	1 ペアレントトレーニングではないが保護者に対して助言や方法の支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	1	1 契約時に毎回丁寧な説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	1	1 丁寧に支援するよう心がけている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	4	1	1 保護者会等は開催していない。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に寄り添い、苦情があった場合に適切に対応しているか	4	0	0	1	1 要望等を口頭で対応し、今後の方針を伝えている。苦情対応方法(マニュアル)は作成している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	0	1	1 活動概要、行事予定、連絡体制等は紙面で定期的に配布している。又ホームページ(作成中)で情報発信予定。	
	35 個人情報に十分注意しているか	4	1	0	0	1 保護者から契約時に同意ももらっている。紙面で約束している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	1	1 保護者、家族によっていろいろな方法で対応している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	0	1	3	1		
	非常災害等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	1	1 職員は、周知しているが保護者には届いていない。マニュアルは作成しているが周知徹底していない職員や保護者もいる。
		39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	1	2	1	1 行政主催の災害訓練に参加している。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか		2	0	2	1	1 外部研修に参加し、適切対応を学んでいる。口頭説明、会議等で随時常に職員間で意識づけを行っている。	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し、了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		0	2	1	2	1 対象児なし。	
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか		1	0	3	1	1 対象児なし。保護者申分で対応している。	
43 ヒヤリとした事例を作成して事業所内で共有しているか		3	0	1	1	1 事例があるときは共通理解をはかっている。事例が隠れていることも考えられるため、思い起こしてもらい共有するよう努めている。	